

令和7年度 事業報告

少子高齢化により、人口減少や労働力不足が続き、また定年延長など労働市場の変化によって、様々な職域で人手不足が社会問題となっています。こういった中、高齢者の豊かな経験を活かし、その能力を発揮できるよう活躍する場としてシルバー人材センターが注目され、高齢化社会をリードするシニア団体として、これまで以上に期待されてまいりました。いなべ市高齢者福祉計画においても、「高齢者が元気で活躍できるまち」の基本目標の中で、シルバー人材センターが地域活性化に寄与するものとして位置づけられています。また、令和7年度いなべ市民表彰式にて、いなべ市シルバー人材センターが、社会福祉の向上への貢献が認められ、団体表彰を受賞いたしました。

当センターにおいては、令和7年度は、第5次中期事業計画の2年目の年であり、より良いサービスと安定した事業運営に努めました。

会員数においては、令和8年3月末時点で、前年度に比べ24人減の660人となりました。令和7年度は、初の女性限定入会説明会の開催や、いなべ市情報番組の放映など様々な広報媒体、メディアを活用しましたが、会員の増加には至っておりません。今後さらに効果的な取り組みを模索する必要があります。

事業実績においては、請負契約金額は約3億3,700万円となり、前年度に比べ約290万円、約0.9%の減となりました。派遣契約金額は約1億4,460万円となり、前年度に比べ約1,230万円、約9.3%の増となりました。契約金額合計は約4億8,160万円となり、前年度に比べ約940万円、約2.0%の増となりました。

企業等における、経常的な経費の上昇に伴う当センターへの発注量の調整や、令和7年の夏も記録的な猛暑となり、屋外作業の受注に影響を及ぼしたことなど、これらのあおりを受けながらも、健全、着実な事業運営を維持しました。

適正就業については、就業先での実態を把握し、請負・委任契約であっても、不適正な就業と判断される場合については、派遣契約への切り替えを要請いたしました。

安全就業に関しては、安全適正委員会により、安全パトロールや研修会、安全就業への啓発活動等、安全対策に取り組むとともに、事故に対しては、原因究明と再発防止策を検討いたしました。

センター活動では、女性部会においては、企画した多種多様な催しが大盛況となり、新規会員の獲得につなげていただきました。シルバー会では、小学校等の除草、剪定などの奉仕活動に献身的に取り組んでいただきました。

事務局では、物価の高騰に対処するため、業務の改善、経費節減により、財務状況の安定確保に努めました。また、会員専用サイト Smile to Smile の普及に努め、多数の会員がセンター事務所にて登録していただきました。令和7年度末の加入率は44.6%と、徐々にですが増加しており、今後も普及を進めてまいります。令和7年度も、会員皆様のご理解とご協力により、当センター事業を円滑に実施することができました。以上、令和7年度の事業報告の概要といたします。

令和7年度の主な事業の実施状況については、以下のとおりです。

1 会員の状況（令和8年3月31日現在）

(1) 会員数

男性 471人 女性 189人 計 660人

(2) 会員の年齢別構成

年齢区分	男性	女性	合計	構成比
60歳～64歳	11	7	18	2.7%
65歳～69歳	80	32	112	17.0%
70歳～74歳	141	67	208	31.5%
75歳～79歳	161	59	220	33.3%
80歳～84歳	67	21	88	13.4%
85歳以上	11	3	14	2.1%
計	471	189	660	100%

令和7年度の会員数は新規入会者数72名、退会者数96名で、令和8年3月31日時点で660名となりました。

会員の減少に歯止めをかけ、新規会員を獲得するため様々な取り組みを行いました。

- ・「輝くシルバーいなべ」に仕事紹介や会員募集を掲載し、全戸配布を行った。
- ・市からの高齢者宛ての郵送物に、会員募集のチラシを同封依頼した。
- ・初の女性限定入会説明会を開催し、女性部会によって入会促進を行った。
- ・女性部会による教室・講座などイベントの参加者に入会を勧誘した。
- ・ケーブルテレビ番組「いなべ10」に女性部会主催のイベントを放映、PRを行った。
- ・一人一会員紹介運動「お知り合い、お友達紹介キャンペーン」を全会員に案内した。
- ・市情報誌 Link に入会説明会の案内を掲載した。
- ・会員募集のポスターを公共施設に掲示依頼した。

これらの効果もあり入会説明会への出席者は104名となり、72名の方々の入会に繋がりました。また、「お知り合い、お友達紹介キャンペーン」も、会員の皆様の積極的な運動の展開が功を奏して、内28名の方に会員の紹介により入会していただくことができました。

【入会説明会】

年 月 日	会 議 名	内 容
毎月実施	入会説明会	出席者 97 名／13 回
7 年 10 月 6 日	女性限定入会説明会	出席者 7 名

2 受託事業（請負・委任）について

就業延べ人員	48,254 人日
就業実人員	414 人
契約金額	337,006,972 円（目標額 349,700,000 円）

3 労働者派遣事業について

就業延べ人員	15,165 人日
就業実人員	155 人
受託収益	14,202,171 円
契約金額	144,582,108 円（目標額 134,600,000 円）

令和 6 年度実績（請負・委任、派遣の合計） 472,229,216 円

令和 7 年度実績（ ♪ ） 481,589,080 円

4 安全就業について

令和 7 年度の事故発生件数は、傷害事故 6 件、賠償事故 8 件、その他事故 2 件で合計 16 件発生し、令和 6 年度の 11 件から増加いたしました。

今後は、安全適正委員会を中心に、さらに会員の安全意識の徹底やパトロール等を強化し、より一層の安全就業の啓発に取り組む必要があります。

5 適正就業について

公益法人として法令遵守の立場から、適正就業ガイドラインに沿った業務運営が求められます。請負就業として不適正な就業と判断される事案については、派遣契約への切り替えに努めました。また、臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の範囲を著しく逸脱した就業については是正を依頼しました。

「適正就業に関する取扱基準」を遵守し、会員間での就業機会の均等化、公平化を図りました。

6 特定公益増進法人制度の推進

特定公益増進法人の寄付金については、令和 7 年度は 5 社から、合計 360,000 円のご寄附をいただきました。この貴重な浄財は、地域の環境整備、福祉の増進に役立たせていただきました。